

業務見直し工程表 (スクラップロードマップ) の当初計画

業務見直し工程表 (スクラップロードマップ) の当初計画				見直し区分	手法の見直し	スクラップロードマップ対象事業等の該当基準	①、②、⑧
項目名	№16 ①「いのち・愛・人権のつどい」と②「人権尊重と部落解放をめざす市民のつどい」			担当課	人権センター	根拠条例等	「草津市人権擁護に関する条例」「部落差別の解消に関する法律」
事業内容	①「いのち・愛・人権のつどい」については、人権意識の高揚を図るため、様々な人権をテーマに講演等を毎年9月23日(秋分の日)に開催している。②「人権尊重と部落解放をめざす市民のつどい」は、同和問題を正しく理解し、早急な部落差別の解消をめざし、講演会等を毎年2月11日(建国記念の日)に開催している。				事業開始の背景等	①「いのち・愛・人権のつどい」は「ゆたかな草津人権と平和を守る都市」宣言を行った昭和63年度から、様々な人権に関するテーマを選定し、毎年9月23日に開催している。②「人権尊重と部落解放をめざす市民のつどい」は、同和問題を一日も早く差別を解消する必要があるため、同和問題について正しい理解と認識を深める契機として、昭和52年度から毎年2月11日に開催している。	
R1予算額(千円)	①1,666 ②1,144 合計2,810千円	事業の開始時期	①S63年(1988) ②S52年(1977)	終期設定がある場合の終期	—	見直しに係る背景等	・①「いのち・愛・人権のつどい」の参加者数は、横ばいであるが、②「人権尊重と部落解放をめざす市民のつどい」の参加者数は、減少傾向にあり、費用対効果が低下してきている。 ・平成28年12月に「部落差別解消推進法」が施行され、その中で地方公共団体の部落差別解消への教育・啓発の充実が明記されている。
実績							
	H28	H29	H30	3年平均	1者(件)あたりの歳出額(円)	当初の見直し予定内容	①「いのち・愛・人権のつどい」の参加者数は、横ばいであるが、②「人権尊重と部落解放をめざす市民のつどい」の参加者数は、減少傾向にあることから、両つどいを統合開催することにより事業効果拡大の検討を行うものである。
対象者(件)数	①650 ②400 合計1,050人	①800 ②350 合計1,150人	①500 ②350 合計850人	①650 ②367 合計1,017人	①2,018円/人 ②2,294円/人 合計2,118円/人		
歳出実績額(千円)	①1,579 ②1,008 合計2,587千円	①1,349 ②741 合計2,090千円	①1,009 ②777 合計1,786千円	①1,312 ②842 合計2,154千円	1者(件)あたりの歳入額(円)		
歳入実績額(千円)	①169 ②169 合計338千円	①684 ②169 合計853千円	①169 ②169 合計338千円	①341 ②169 合計510千円	①525円/人 ②460円/人 合計501円/人		
当初の見直しに係る実施計画							
H29年度		H30年度			R1年度	R2年度	
両つどいの見直し検討		各協議会・関係団体等への説明			実施予定		
◆方針決定							



進捗管理表

実績		R2	1者(件)あたりの歳出額(円)	R2年度の 見直し検討結果	見直し内容の変更の有無	有りの場合	変更が必要となった理由
対象者(件)数	①中止 ②中止	①中止 ②中止	①中止 ②中止				
歳出実績額(千円)	①61 ②263 合計324千円	①1者(件)あたり の歳入額(円)		変更後の 見直し内容	有りの場合	変更が必要となった理由	
歳入実績額(千円)	①0 ②0 合計0千円	①中止 ②中止					平成30年度「人権・同和問題」に関する市民意識調査の結果、市民に人権問題や差別に対する正しい知識・理解は一定浸透してきているものの、差別についての考え方の質問で、「同和地区の忌避意識」と「身元調査」をすることについて、「差別だと思う」と答えた割合が半数に満たず、また、同和問題を解決するために必要と思う対策について誤った認識(自然解消論等)を持つ人が一定数いるという結果になっている。また、人権問題は自分には関係がないという意識の人がいることや、人権に関する研修会等の参加状況について、研修会、講演会に参加したことがない人が54.6%と半数を超えている。このようなことから今後も正しく人権について理解するための学ぶ機会をつくり、人権意識の高揚を図るため、人権教育・啓発に注力していく必要があり、啓発の効果を後退させないことを念頭に置きながら、2つの事業のあり方を継続検討していく。
※対象者(件)数・・・つどい参加者数							
見直し実績				変更後の見直しに係る実施計画			
H30年度		R1年度			R2年度		R3年度
各協議会・関係団体等への説明		各協議会・関係団体等との協議			・人権擁護推進協議会との協議 ・今後の効果的な啓発のあり方検討部会設置の決定		今後の効果的な啓発のあり方検討部会での検討

業務見直し工程表 (スクラップロードマップ) の当初計画

見直し区分					手法の見直し	スクラップロードマップ対象事業等の該当基準	④、⑦
項目名	No.17 セールスプロモーション支援事業		担当課	商工観光労政課	根拠条例等	草津市工業振興計画の重点事業	
事業内容	市内の優れた製品・技術の展示会出展の支援やマスメディアを活用した紹介等の露出促進を通じて、「草津発の企業」の認知度向上と企業業績向上の支援を図る。				事業開始の背景等	平成23年度より、市内企業の優れた製品や技術の販路拡大を行うため、また、草津発の企業の認知度も向上させ、将来的な草津ブランドの創出を目的とし、首都圏で開催される展示会へ出展支援を行っている。	
R1予算額(千円)	4,413	事業の開始時期	H23年度	終期設定がある場合の終期	—	見直しに係る背景等	平成24年度より出展企業負担金が見直されていないため、費用対効果等を含め見直しを行う必要がある。
実績							
	H28	H29	H30	3年平均	1者(件)あたりの歳出額(円)	当初の見直し予定内容	草津市工業振興計画の重点事業に当事業が位置づけられており、現在も計画期間内であることから、次回策定時(平成31年)に、出展企業負担金の見直しや事業そのものの在り方を検討する。
対象者(件)数	4	4	4	4.0	932,750		
歳出実績額(千円)	3,365	3,802	4,026	3,731.0	1者(件)あたりの歳入額(円)		
歳入実績額(千円)	454	380	833	555.7	138925		
当初の見直しに係る実施計画							
H29年度		H30年度			R1年度	R2年度	
現行実施		見直し案実施(廃止も含む)					
草津市工業振興計画見直し(重点事業:セールスプロモーション支援事業)		草津市工業振興計画見直し(重点事業:セールスプロモーション支援事業)			草津市工業振興計画見直し(重点事業:セールスプロモーション支援事業)		
・アドバイザーボード		・アドバイザーボード			・アドバイザーボード		
商工会議所と協議、過去出展企業ヒアリング		◆方針決定					
予算		予算			予算		



進捗管理表

実績	対象者(件)数	R2	1者(件)あたりの歳出額(円)	R2年度の 見直し検討結果	出展企業負担金については、応分負担の原則に基づき出展者が負担するよう変更した。(平成30年度) 今後の事業の見直しについては、「草津市工業振興計画」の次期計画にあたる「草津市産業振興計画」の策定の中で検討することとした。			
	歳出実績額(千円)	0	#DIV/0!					
	歳入実績額(千円)	753	1者(件)あたりの歳入額(円)					
	歳入実績額(千円)	0	#DIV/0!					
予算	対象者(件)数	R3	1者(件)あたりの歳出額(円)	変更後の 見直し内容	有り	有りの場合 ↓	変更が必要となった理由	
	歳出予算額(千円)	4	1,181,000					草津市総合計画および滋賀県の産業振興ビジョンの方向性に合わせた内容とするため。
	歳入予算額(千円)	4,724	1者(件)あたりの歳入額(円)					
	歳入予算額(千円)	749	187250					
※対象者(件)数・・・展示会出展者数(中小企業・小規模企業者)								
見直し実績					変更後の見直しに係る実施計画			
H30年度		R1年度			R2年度		R3年度	
◆方針決定(出展企業負担金見直し) 事業継続(見直し反映)								
アドバイザーボード		アドバイザーボード(1回) (これまでの取組評価等)			事業のあり方の見直し(継続検討)		事業のあり方の見直し(継続検討)	
◆方針決定(計画期間延長)								
予算		予算			予算		予算	

業務見直し工程表 (スクラップロードマップ) の当初計画

見直し区分		手法の見直し		スクラップロードマップ対象事業等の該当基準		⑦	
項目名	No.18 エコスタイルプラザ運営・環境学習相談事業	担当課	くさつエコスタイルプラザ	根拠条例等	草津市環境基本条例		
事業内容	「くさつエコスタイルプラザ」を拠点とする環境・ごみに関する体験学習や啓発展示、イベントおよび環境まちづくりを進めるエコミュージアムの推進事業。 ①プラザを利用した講座・ワークショップ、啓発イベント②地域などで継続的に実施される団体等が行う環境学習の支援③環境教材の貸出、講師の派遣の相談			事業開始の背景等	平成30年3月に完成したクリーンセンター内に啓発施設である「くさつエコスタイルプラザ」ができたことにより、環境関連の組織を再編し、旧環境課業務と旧ごみ減量推進課が担っていた啓発および環境学習に関する業務を所管する「くさつエコスタイルプラザ」を設置。		
R1予算額(千円)	3,460	事業の開始時期	-	終期設定がある場合の終期	-		
実績							
	H28	H29	H30	3年平均	1者(件)あたりの歳出額(円)	当初の見直し予定内容 「くさつエコスタイルプラザ」で実施している啓発・環境学習のための体験学習や啓発展示、イベントのほか、環境まちづくりを進めるエコミュージアムの推進に係る事業の一部を、NPO等に委託するなど市以外が主体となり実施するための事業手法の見直しを検討する。	
対象者(件)数	不明	不明	8,000	8,000.0	78		
歳出実績額(千円)	180	159	1,525	621.3	1者(件)あたりの歳入額(円)		
歳入実績額(千円)	0	0	0	0.0	0		
当初の見直しに係る実施計画							
令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
NPO等の発掘		委託業務の履行状況の検証				第二段階予算	
委託業務の内容の検討						第二段階契約準備	
第一段階予算		第一段階契約準備		第一段階委託期間			



進捗管理表

実績	R2	1者(件)あたりの歳出額(円)	R2年度の 見直し検討結果 現在、エコスタイルプラザで実施している、イベント、講座、ワークショップ、講師派遣の相談等の業務を段階的にNPO等の団体に委託するにあたり、令和2年度に行う委託業務の内容の検討を行った。 令和2年度の実績としては、民間の環境団体に環境学習啓発業務を委託した。 今後も引き続き、当館の他の業務を当該団体等にアウトソーシングするよう、検討していく。	
	対象者(件)数	132		5,341
	歳出実績額(千円)	705		1者(件)あたりの歳入額(円)
	歳入実績額(千円)	0		0
予算	R3	1者(件)あたりの歳出額(円)	変更後の 見直し内容 当初の計画では、7月に契約を行う予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響のほか、仕様書の検討や、契約手続き等に時間を要したため、契約したのは12月であった。 なお、第二段階の委託の時期について、前倒しができないか、検討を進めているところである。	
	対象者(件)数	132		5,636
	歳出予算額(千円)	744		1者(件)あたりの歳入額(円)
	歳入予算額(千円)	0		0
※対象者(件)数・・・委託業務で実施したイベントの参加者数				
見直し実績		変更後の見直しに係る実施計画		
令和元年度		令和2年度		
NPO等の発掘		委託業務の履行状況の検証		
委託業務の内容の検討		第二段階の委託に向けた検討		
第一段階予算		第二段階契約準備		
		第一段階委託期間		

業務見直し工程表 (スクラップロードマップ) の当初計画

見直し区分		廃止		スクラップロードマップ対象事業等の該当基準		①、⑧		
項目名	No.19 紙版「くさつ健幸ポイント制度」		担当課	健康増進課		根拠条例等	健康くさつ21 (第2次) 第3次草津市食育推進計画	
事業内容	健康づくりに関心を抱ききっかけづくり、生活習慣改善のための行動変容の動機づけ、意識やモチベーションの高揚や継続効果・波及効果を目的として、健康づくりの取組をポイント化し、貯まったポイントで景品の抽選に応募できる制度。対象は19歳以上の市民 (抽選に応募できる対象者)。					事業開始の背景等	健康寿命の延伸や健康格差の縮小を目指し、健康づくりのきっかけづくりとして、健康づくりの取組をポイント化し、インセンティブ (景品の抽選) を提供することで、健康づくりに取り組む市民が増えることを目的に開始している。	
R1予算額 (千円)	408	事業の開始時期	平成28年	終期設定がある場合の終期	-	見直しに係る背景等	平成30年1月から、紙版「くさつ健幸ポイント制度」に加え、県内10市町と協会けんぽによる健康推進アプリ「BIWA-TEKU」の運用を開始しており、スマートフォンのアプリ活用により、若い世代を含めたさらに多くの市民が利用し、健康づくりへの関心やきっかけづくりにつながることも、また、「BIWA-TEKU」開始により紙版の平成30年度実績が大幅に減少したことから、「BIWA-TEKU」に統合することで対応できると考えられる。 (参考:平成30年度「BIWA-TEKU」参加者数:1,469人)	
実績								
	H28	H29	H30	3年平均	1者(件)あたりの歳出額 (円)	当初の見直し予定内容	健康推進アプリ「BIWA-TEKU」に完全移行し、紙版「くさつ健幸ポイント制度」を廃止する。	
対象者(件)数	703	827	43	524.3	1,105			
歳出実績額 (千円)	760	812	166	579.3	1者(件)あたりの歳入額 (円)			
歳入実績額 (千円)	0	0	0	0.0	0			
当初の見直しに係る実施計画								
令和元年度		令和2年度			令和3年度		令和4年度	



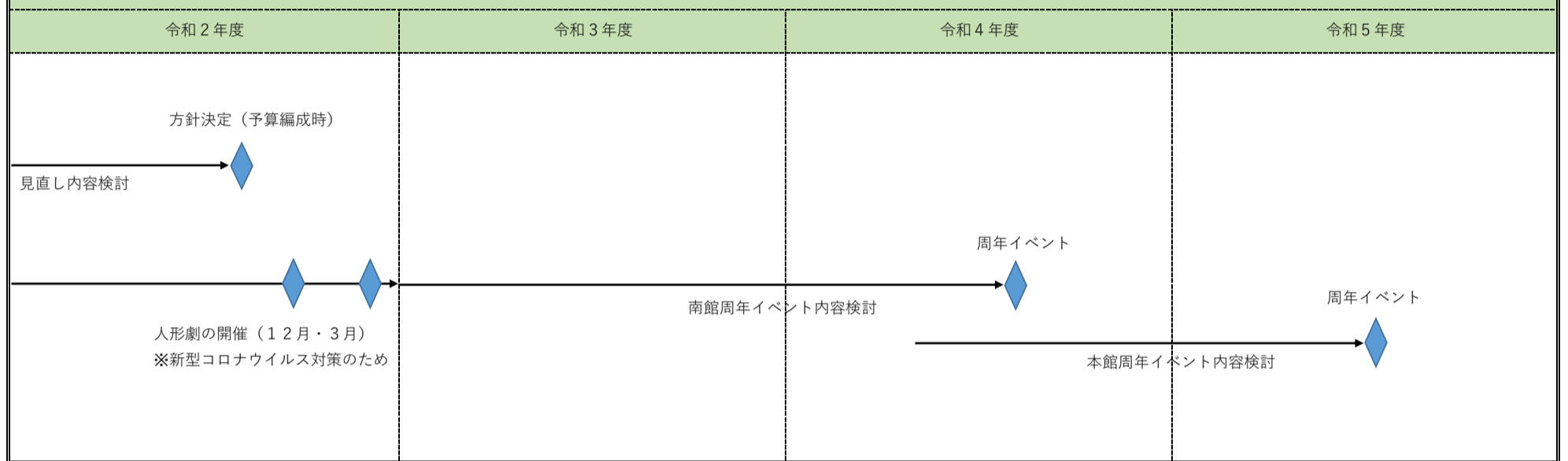
進捗管理表

実績		R2		R2年度の 見直し検討結果		見直し内容の変更の有無		変更が必要となった理由	
対象者(件)数	12	1者(件)あたりの歳出額 (円)	2,667	無し	有りの場合				
歳出実績額 (千円)	32	1者(件)あたりの歳入額 (円)	0						
歳入実績額 (千円)	0		0						
予算		R3		変更後の 見直し内容					
対象者(件)数	12	1者(件)あたりの歳出額 (円)	2,000						
歳出予算額 (千円)	24	1者(件)あたりの歳入額 (円)							
歳入予算額 (千円)	24		2,000						
※対象者(件)数・・・景品の応募申請をした人数									
見直し実績					変更後の見直しに係る実施計画				
令和元年度		令和2年度			令和3年度		令和4年度		
実績: 1000ポイント達成者 37名 (継続27名、新規10名)		実績: 1000ポイント達成者 12名 (継続4名、新規8名)							

業務見直し工程表 (スクラップロードマップ) の当初計画

見直し区分		手法の見直し		スクラップロードマップ対象事業等の該当基準		⑤、⑧	
項目名	No.20 人形劇	担当課	図書館・南草津図書館	根拠条例等	—		
事業内容	子どもの読書活動の推進を目的に、子どもの図書館への来館、本にふれる機会をつくるため、おはなし会を毎月開催している。そのうち、7月と12月はプロを呼んで人形劇を実施している。			事業開始の背景等	子どもの読書活動の推進を目的に、子どもの図書館への来館、本にふれる機会をつくるため。		
R2予算額 (千円)	20	事業の開始時期	平成17年度	終期設定がある場合の終期	—		
実績							
	H29	H30	R1	3年平均	1者(件)あたりの歳出額 (円)	見直しに係る背景等 行事を増やすことで職員の業務負担が大きくなり、人員の確保が難しくなっているため。近隣他市でも人形劇を実施している市町村は少ない。 当初の見直し予定内容 子ども向け行事の中で、人件費・事業費を伴う人形劇の毎年度年2回の開催は見直し、図書館開館〇周年のような、特別な機会に実施するものとする。 おはなし会の毎月の開催は継続する。 (案) 次回開催予定 令和5年 本館開館40周年 (昭和58年、1983年7月開館) 令和4年 南館開館20周年 (平成14年、2002年7月開館)	
対象者 (件) 数	251	214	246	237.0	84		
歳出実績額 (千円)	20	20	20	20.0	1者(件)あたりの歳入額 (円)		
歳入実績額 (千円)	0	0	0	0.0	0		

当初の見直しに係る実施計画



進捗管理表

実績	R2		R2年度の 見直し検討結果	見直し内容の 変更の有無	有りの場合 ↓ 変更が必要と なった理由	
	対象者 (件) 数	1者(件)あたりの歳出額 (円)				
対象者 (件) 数	0	#DIV/0!	新型コロナウイルス感染症蔓延予防のため人形劇の開催を中止した。	無し		
歳出実績額 (千円)	0	1者(件)あたりの歳入額 (円)				
歳入実績額 (千円)	0	#DIV/0!				
歳入実績額 (千円)	0	#DIV/0!				
予算	R3		変更後の 見直し内容	有りの場合 ↓ 変更が必要と なった理由		
	対象者 (件) 数	0				1者(件)あたりの歳入額 (円)
	歳出予算額 (千円)	0				1者(件)あたりの歳入額 (円)
	歳入予算額 (千円)	0				#DIV/0!

※対象者(件)数・・・人形劇参加者人数

見直し実績

変更後の見直しに係る実施計画

